

## 平成 29 年 6 月部課長会（議事要旨）

### 1. 市長訓辞

#### ① 市長挨拶資料

- ・担当課しか知りえない現場の実情や声、相手方のご努力など具体的な内容を挨拶資料に盛り込んでいただきたい。
- ・挨拶資料以外の内容を市長が話した場合、担当課内で共有し、次年度の挨拶資料に反映するなど、工夫していただきたい。

#### ② 市長プレゼン資料

これまで、市長が様々な機会にパワーポイントでプレゼンをした資料が、市ホームページの「WEB 市長室」にて掲載されている。内容を確認していただき、考え方などを共有してほしい。

#### ③ ワークショップ

市、または自治会、団体などが実施するワークショップは、市政の基本である。ワークショップやその後の懇親会などで、会場にいるのに輪の中に入っていない職員がいる。今後は、積極的に市民とコミュニケーションして意見交換をしていただきたい。

#### ④ 窓口対応

市長や理事者、部長の「知り合いだ」とか、「直接話をしたことがある」と窓口申し出る市民もいると思うが、当然ながら特別扱いすることなく他の市民と同様に公平に対応していただきたい。すべての市民に対して分け隔てなく、申し入れや提案などを聞き、迅速かつ前向きに対応していただきたい。

#### ⑤ 本日の議題「スクラップ&ビルド」について

新しい事業を生み出すだけでは業務量が増えていく一方なので、同時に事業の見直しや廃止を検討いただきたい。市全体としても実施するが、各係、各課、各部においてもそれぞれ事務や仕事の方法の効率化、合理化を進めていただきたい。

### 2. 理事者から

#### 議会答弁について（副市長）

〈概要〉

- ・本会議、委員会における「議員」「委員」の使い分けを正確にしていただきたい。
- ・答弁では、質問の意味と内容を理解して、焦らずに質問内容を確認して正確に答弁していただきたい。
- ・答弁は、課長だけに関わらず細かなデータなどは、課長補佐が積極的に答弁していただきたい。

### 3. 施策のスクラップ&ビルド

#### 廃止事務事業等の検討について（財政課）

<概要>

別添パワーポイント資料

##### 【主な意見】

- ・ 調書の作成は、どの範囲まで及ぶのか。  
→様式に事務事業の単位を設定しているので参照していただきたい。
- ・ 複数の所属にまたがった場合はどうするのか。  
→主となる担当課で調整して作成をお願いしたい。

#### 施策のビルド（政策企画推進課）

<概要>

別添パワーポイント資料

#### 事例報告（環境モデル都市推進課）

<概要>

- ・ 省エネ家電の買い替え補助事業の廃止
- ・ 環境マネジメントシステムの管理について、外部団体への委託を廃止
- ・ 経済産業省のモデル事業を活用して地域エネルギー会社の計画、検討を実施。

#### 事業の廃止のポイント（地域活力創生部長）

<概要>

- ・ 目的と手段を明確に認識する
- ・ 組織として廃止を決定したということを共通で認識する

##### 【主な意見】

- ・ 省エネ家電買い替え補助の廃止は、市民からの反対はなかったのか。  
→家電の買い替えする個人が対象であり、ある程度限定的ではあるので、廃止にあたり反発はあまりなかった。
- ・ 環境マネジメントシステムの管理を職員が実施することについて、人件費の考え方を教えていただきたい。  
→外部へ委託していた頃から市役所職員が手伝うことは多少あったので、作業量としてそれほど変化はない。しかし、今後は比較して考慮する必要がある。
- ・ 地域エネルギー会社の設立について、モデル事業終了後に市の負担はあるのか。  
→設立時の出資金以外に市の負担はない。

#### 事業報告（教育指導課）

<概要>

- ・ 各小中学校における環境行動ポイント制度（エコボーナス）の縮小と廃止

<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育推進委員会の立ち上げ</li> </ul>
<b>補足説明（教育振興部長）</b>
<p>&lt;概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコボーナスは、学校の光熱水費の削減のメドが立った時点で、事業を廃止するという方向の施策が、手法を変えて継続してきた。これからは、目的達成時に対し、サンセット方式も有効的である。</li> <li>・英語教育推進委員会は、費用をかけずに効果が期待できる取組である。</li> </ul>

<b>事例報告（上下水道部総務課）</b>
<p>&lt;概要&gt;</p> <p>別添パワーポイント資料</p>
<b>補足説明（上下水道部長）</b>
<p>&lt;概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良モデル事業の一環として、県と連携して進めている事業である。受水点までの送水管は県が施工する。</li> <li>・新設するポンプ施設は、自家発電の13時間分の送水と、配水池に残される半日分の貯水量とで、合わせて停電時も小瀬配水区域へ24時間の配水が確保できる。</li> </ul>

**【主な意見】**

- ・山崎浄水場の小水力発電に影響はないのか。
- 浄水場へ供給する水量が減っても、最大出力での発電が可能なので、影響はない。

<b>全体について</b>
<p>&lt;概要&gt;</p> <p>（市長公室長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金がなくなった事業を続けるかどうかのタイミングを見極めていただきたい。</li> <li>・新規事業の開始後も、効果を検証し定期的に中身を見直すことを継続していただきたい。</li> </ul> <p>（総務部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何の手も打たずにこのままの財政状況が進むと、実質収支は近い将来赤字になるかもしれない。ぜひスクラップ&amp;ビルドにご協力いただきたい。</li> </ul> <p>（教育長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークライフバランスを保つためにも、管理職から積極的にスクラップ&amp;ビルドに取り組んでいただきたい。</li> </ul> <p>（副市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各課の中でワークショップを実施する、目的が達成されたかを精査する、複数課に</li> </ul>

またがる取組でもスクラップ&ビルドするなど、積極的に取り組んでいただきたい。

(市長)

- ・職員の時間外の削減などもゆりみが見えるので、しっかりと取り組んでいただきたい。
- ・補助金や事業の進め方の相談などで、政策企画推進課をもっと活用いただきたい。
- ・事業仕分けや市民への説明には、客観的なデータが必要。しっかりと整理をおねがいしたい。
- ・団体への補助はせず、事業への補助のみ行う。しっかりと見極めていただきたい。